

現状と課題

ほかの機会で回答された方は回答不要です。

大麻町は1967年（昭和42年）に鳴門市と合併してから58年が経ち、鳴門市ドイツ館、道の駅「第九の里」、四国八十八箇所霊場である霊山寺や極楽寺など、市内外の方が訪れる、歴史や文化を活かした観光振興を図るエリアであるとともに、大谷焼などの伝統文化、アジア第九初演の地である国際交流、大麻山やゲンジボタル、コウノトリが象徴的な豊かな自然や特産品といった、他の町にはない魅力がたくさんあります。

一方で、人口減少や少子高齢化、それらに伴う商業活力の低下や空き家の増加など、相互に絡み合いながら進行しており、地域の課題となっております。

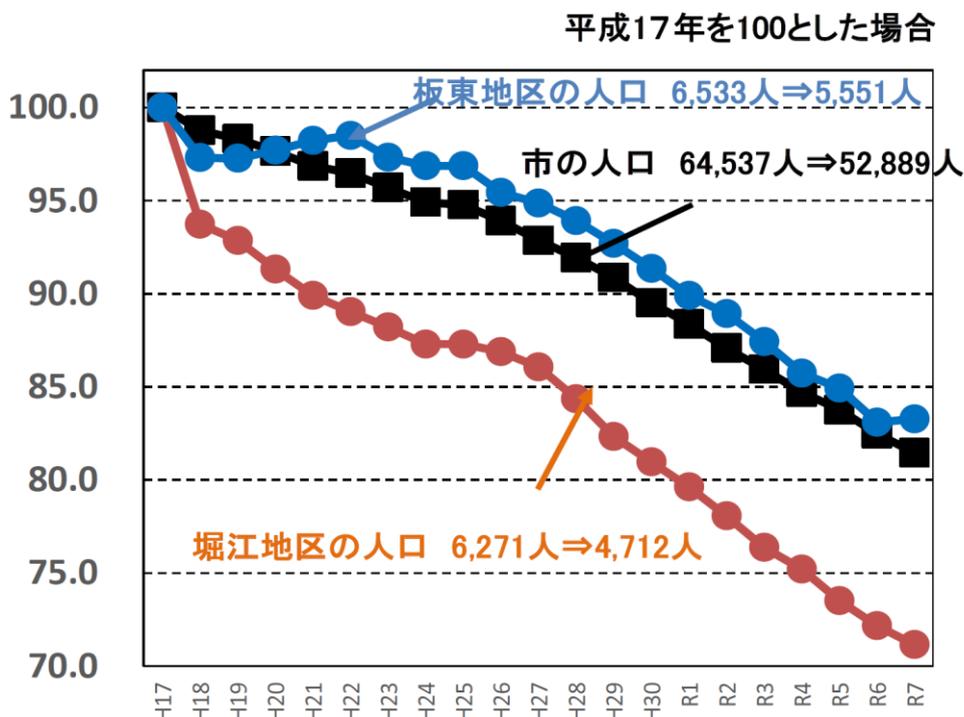
具体的には、図1にありますとおり、過去20年間における本市と大麻町の人口の推移を示していますが、大麻町では約20%の人口が減少しています。また、図2では、同じく過去20年間における、本市全小学校と大麻町内の小学校の生徒数の推移となりますが、大麻町では約34%の生徒数が減少しています。また、事業所数の減少や空き家率の増加のほか、駅の利用者も減少傾向にあるなど、「まち」の活力の低下は厳しい状況にあります。（図3、図4）

このように大麻町には素晴らしい魅力がある一方で、様々な課題も有しており、これらの良い面をさらに伸ばしつつ、地域課題の克服や地域活性化を図ることを目的に、令和7年6月30日に「大麻町未来づくり会議」という協議会を開催し、意見交換を進めています。

今後、この協議会において、大麻町のより良い未来に向けて検討を進めるため、大麻町の良さと課題を認識いただいた上で、皆さんの率直なご意見をお聞かせいただきたいと考えており、このたびアンケートを実施することとなりました。

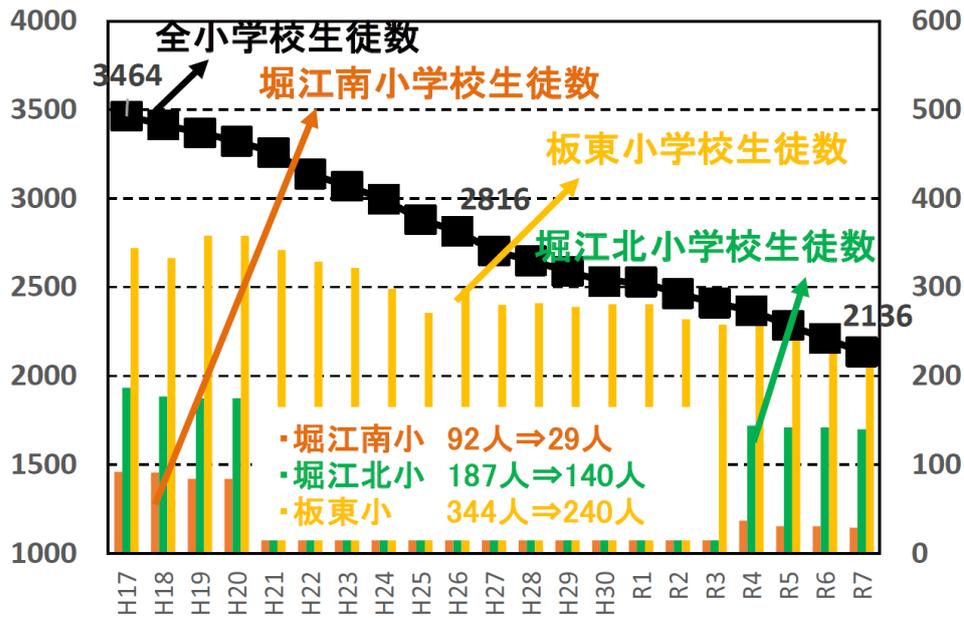
つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、ぜひ皆さんのお力添えをよろしくお願いいたします。なお、ご回答いただいた内容に関して、個人が特定されることは一切ありません。

【図1】 本市人口と大麻町人口の過去20年間の推移



【図2】

本市全小学校と大麻町内の小学校の生徒数の推移



戦略企画課統計年報より

【図3】

事業所数等一覧

(単位:所、人)

		総数		第一次産業		第二次産業		第三次産業	
		事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
市全体	平成24年	2,897	23,414	36	242	468	7,079	2,393	16,093
	令和3年	2,565	24,214	33	236	417	6,575	2,115	17,403
	減少率	-11.5%	3.4%	-8.3%	-2.5%	-10.9%	-7.1%	-11.6%	8.1%
大麻町	平成24年	440	3621	12	88	126	1927	302	1606
	令和3年	358	3508	9	54	97	1620	252	1834
	減少率	-18.6%	-3.1%	-25.0%	-38.6%	-23.0%	-15.9%	-16.6%	14.2%

空き家率

(単位:数、%)

		総数		
		建物数	空き家数	空き家率
市全体	平成30年	24,897	1,442	5.8%
	令和3年	25,032	2,761	11.0%
大麻町	平成30年	5,145	255	5.0%
	令和3年	5,124	414	8.0%

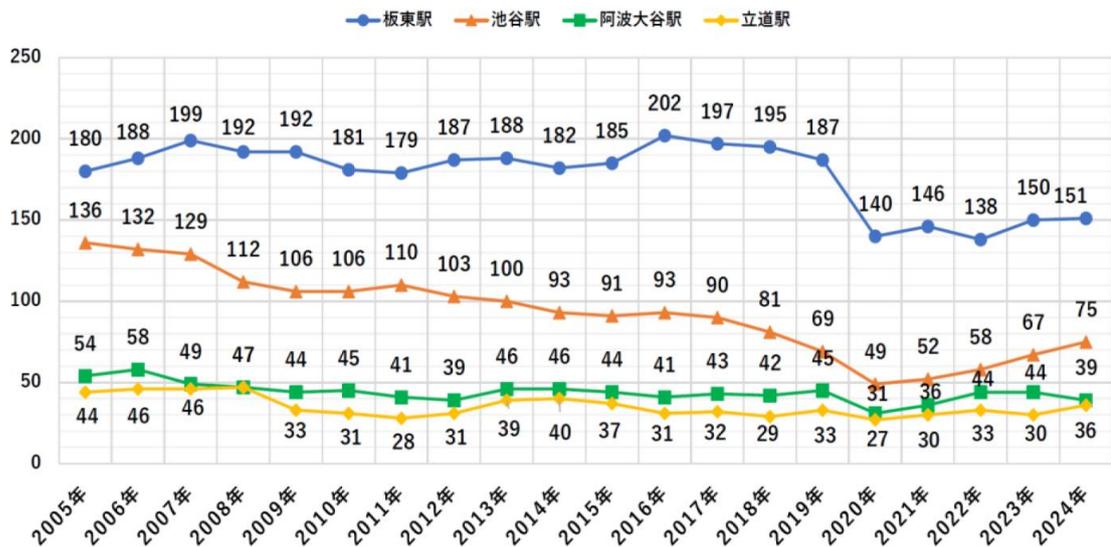
※経済センサスより

※鳴門市空家等対策計画より

【図4】

(人)

大麻町4駅の1日平均乗車数の推移



JR四国提供資料より